



おおた 区議会 だより

令和5年
第2回
定例会号

No.257

令和5年
7月30日発行

第二子の保育料無償化 を含む第2次補正予算 などを可決

大田区議会は、令和5年第2回定例会を6月15日から6月26日までの12日間の会期で開きました。

定例会では、区政の各分野における課題について、21名の議員が質問し、議論しました（詳細は、2～5面に掲載）。

- 区長提出議案として、令和5年度大田区一般会計補正予算（第2次）や条例の一部改正案、報告など29件が提出されました（詳細は、6面に掲載）。
- 議員提出議案として、条例案1件、条例の一部改正案1件が提出されました（詳細は、6面に掲載）。
- 請願・陳情は、審議の結果、不採択22件、そのほかは継続審査となりました（請願・陳情の結果は、7面に掲載）。

発行／大田区議会

〒144-8621
大田区蒲田五丁目13番14号
電話 03-5744-1474 (直通)

<https://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/>



大田区議会 検索



今号のイラストは、大田区平和都市宣言記念事業「花火の祭典」の様子をイメージしています。平成30年度を最後に4年間開催されていみせんでしたが、今年は5年ぶりに開催されます。平和記念式典を通して、平和の尊さ、大切さを今一度考えていただくようなプログラムが行われる予定です。

令和5年度一般会計補正予算（第2次）を可決

令和5年度一般会計第2次補正予算は、以下の視点を踏まえて計上されました。

- 社会経済状況の変化に速やかに対応するための予算
- 第二子の保育料無償化に係る予算

今回の補正予算の規模は、1億2,544万5千円の増額となりました。

計上された主な事業は、次のとおりです。

一般会計補正予算（第2次）の主な事業

総務費	特別出張所（（仮称）北千束二丁目複合施設の整備） （仮称）北千束二丁目複合施設建設工事費の増	822万5千円
福祉費	認可外保育施設等保護者負担軽減補助 第二子保育料無償化に伴う認可外保育施設等保護者負担軽減補助の増	5,450万1千円
教育費	校舎の改築等（小学校費） 赤松小学校改築工事費の増	4,854万2千円

録画中継

本会議などの様子を録画したテレビ中継映像をインターネットで配信しています。



代表質問

質問と答弁は、質問者がまとめた要旨を掲載しています。詳しくは、区議会ホームページの会議録をご覧ください。



自由民主党大田区議員・無所属の会 鈴木 隆之

困難を克服し先へ進む、力強い大田区を目指して

自治体を経営する具体的な取り組みを戦略的、体系的にまとめ上げることで、新たな基本構想・基本計画の実効性を担保するべきと考えるが、区長の考えを伺う。

区は現在、令和3年度に策定した「持続可能な自治体経営に向けた取組方針」に基づき、事務事業の見直しの再構築やDXの推進、職員の人材育成などを進めている。経営資源であるヒト・モノ・カネ・情報・時間の全体最適化及び業務の生産性の一層の向上に向け、新たな基本計画の策定と合わせ、持続可能な自治体経営を実践するための戦略をまとめ上げていく。

DXの推進による書かない窓口やワンストップ窓口など、今後の展望について区長の意見を伺う。

区では、本庁舎1階窓口の待ち時間をインターネットで案内しているほか、マイナンバーカードを利用できる証明書交付機を本庁舎と特別出張所に設置し、申請書を書かずに証明書が取得できるようにしている。手続きのオンライン化に向け、全ての行政手続きを洗い出し、その精査及び条例の整備などを進めている。まずは現在の窓口環境の改善に取り組む。

大田区公共施設等総合管理計画では、今後40年間で9,000億円を超える財政需要が見込まれる。どのように財政運営を行うのか。先行きが不透明な現下の社会経済状況においては、各年度の収支



CTを活用した教育施策の今後の展望について、区の見解を伺う。

ICTを活用した授業改善を図る取り組みを全校で推進し、児童・生徒自身がタブレットを情報収集や情報共有のための手段として主体的に選択し、効果的に活用する学習がどの教室でも実践できるように取り組んでいく。

将来の子どもたちへ向けた、教育委員会のこれからの展望を伺う。

コロナ禍で修学旅行などが中止となった子どもたちを対象に、子ども同士の絆を深めたり、思い出を取り戻したりするような機会について検討していく。

震災などから地域を守るため、燃えない、倒れないまちづくりをどのように進めていくのか。

首都直下型地震などの大規模災害の発生リスクが高まる中、復興に向けたまちづくりを早期かつ的確に行うため、5年度は初めての取り組みとして、羽田地区で事前復興まちづくり訓練を実施する。

引き続き、地域防災活動の支援や分散避難対策など、地域防災力の向上も積極的に進めていく。

新空港線の整備は、蒲田が変貌を遂げる上で大きなチャンスである。蒲田駅周辺のまちづくりをどのように進めていくのか。

蒲田の機能更新や都市基盤の整備が連動して進むように公共施設や街区の再編も含めた計画的で一体的な整備を検討していく。鉄道沿線のまちの魅力を高め、にぎわいの創出につながるソフト面の取り組みにも力を入れていく。

子育て世帯に選ばれる区となるため、こども家庭センターの設置に際しては、これまで以上に実践的なものとなるよう具体化する。引き続き国などの動向を把握し、区が整備する児童相談所との機能連携を含めた、より包括的で実効性のある相談支援体制を構築する。

ポストコロナ時代に向けて、



日本共産党大田区議員

清水 菊美

物価高騰から暮らし・営業を守る区政へ！

核兵器禁止条約を無視し、核抑止論を公然と正当化したG7「広島宣言（ビジョン）」について

大田区平和都市宣言の立場を貫く自治体の長として広島宣言に抗議し、「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」に区長自ら署名することを求める。

日本は国際社会による核軍縮・不拡散の議論を主導している。物価高騰から区民の暮らしと営業を守るための対策について

熱中症対策で電気代の負担軽減策が必要だが、最低限としてエアコンの購入・設置の費用を助成することを求める。

光熱水費の値上げは区民生活を強く圧迫していると認識している。区内では閉店・廃業が目立つ

約800メートルに約900億円の税金を使うことになり、不便になる区民もいる新空港線（蒲田線）計画について

現時点では決まっていない仮定の情報をあたかも決まっているかのようにメリットだけ並べた動画は誤解を招く。不便になることを心配する区民へ説明が必要である。

引き続き、情報を分かりやすく

いる。町工場・銭湯など、都の給付金支給の対象にならない事業者に対して支援することを求める。様々な事業者支援を実施してきた。基礎自治体の役割を果たす。非課税世帯、低所得世帯給付金は国・都の補助である。区独自で区民への物価高騰対策を求める。

必要な施策を行っていく。

約800メートルに約900億円の税金を使うことになり、不便になる区民もいる新空港線（蒲田線）計画について

現時点では決まっていない仮定の情報をあたかも決まっているかのようにメリットだけ並べた動画は誤解を招く。不便になることを心配する区民へ説明が必要である。

引き続き、情報を分かりやすく

引き続き、情報を分かりやすく



つばさ大田区議員

犬伏 秀一

新区長に問う 区政への決意と懸念

4千人の大組織のリーダーに就任された鈴木区長に区政運営の思いを、お役人の答弁ではなく、区長自らの熱い言葉で伺いたい。

4千人以上の職員を抱える大田区長の役割で最も重要なことは、目指すべきビジョンを明確に議会や区民に示すことであると考える。大きな組織の長として、最後に決断を下すのは私の責務である。区長として全速力で先頭を走りつつ職員とスクラムを組んで、区民や団体、企業なども巻き込み、オールおおたで笑顔と温かさあふれる区の未来を必ず築いていく。

区長は羽田イノベーションシティについてどう考えるか。区の見解はないがしろにされ、事業者の

利益だけが優先される本事業の進め方については、SPCと区の立ち位置について協議すべきだ。

区と事業者が新産業創造・発信拠点の形成という目的を共有した上で、それぞれの役割分担の中で取り組んでいる。区長就任後に事業者から報告を受け、その際自身身の思いを直接伝えた。引き続き、連携協議を重ねながら、目的達成に向けて取り組んでいく。

LGBT法案は廃案にすべき。女性だと主張する男性の女性専用スペースの利用など、女性の安全・安心より法案の成立を急ぐ理由は何か。法案が成立した場合、区は女性の危険を回避することを第一に考えるべき。見解を伺う。

タイムリーに提供していく。問 区負担分がゼロになったとしても、都の交付金や財調は税金である。大型開発によって区民に本来必要な福祉や公共事業に使われないのではと考えるが、いかがか。

区は福祉分野にも力を注いでいる。必要な新空港線の整備や沿線まちづくりを推進していく。

区が50億円積立金を増額して進める鉄道沿線まちづくりは、大手ゼネコンなどのもうけにつながり住民や商店など約6割が戻れない駅前開発である。見直しを求める。

多様な地域特性をいかしたまちづくりを進めていく。

SDGs未来都市におけるジェンダー平等の施策について

パートナシップ制度は23区中12区が実施し、他自治体の状況や情勢を見て区も制度の導入をせざるを得ないと考える。

引き続き、慎重に対応していく。

法案成立後、これに基づき対応していくとともに国が今後策定する基本計画においても地方自治体として、責務を果たしていく。

教育委員会は、LGBT法が学校現場、特に性教育の場与える影響についてどう考えるか。

文部科学省や都の通知を踏まえ、児童・生徒の状況に応じた指導内容の配慮について研究していく。

ホームページのご案内

議会の新着情報や議員名簿、会議日程などをお知らせしています。ぜひご活用ください。

簡単アクセス!



詳細は

大田区議会

検索



質問と答弁は、質問者がまとめた要旨を掲載しています。



会議録検索システム

区議会の会議録を検索・閲覧できるシステムを区議会ホームページに掲載しています。

詳しくは、区議会ホームページの会議録をご覧ください。



大田区議会公明党 鈴木区長が目指す、大田区政の展望について

田村英樹

区政運営について

問 平和のメッセージを力強く発信する区への取り組みについて伺う。

答 G7広島サミットでは、核軍縮に焦点を当てた初の共同文書である広島ビジョンが発出されるなど、世界平和に向け大きな成功を収めた。区はこれまで、大田区平和都市宣言の策定や平和首長会議への参加など様々な取り組みを進めてきた。引き続き、平和のメッセージを区内外に強く発信していく。

カーボンニュートラルの実現に向けたまちづくり構想について

問 2050年カーボンニュートラルの実現に向けた、公民連携事業の展望について区への考えを伺う。

答 区は、令和4年2月に温室効果ガス排出量実質ゼロを目指すゼロカーボンシティを表明した。この目標や計画の実現に向け、行政、区民、事業者、研究・開発機関などが協力体制を構築し、カーボンニュートラルの実現への取り組みを推進していく。

観光施策と産業振興について

問 今後のインバウンド需要を捉え、区の観光施策について見解を伺う。

答 区の魅力を国内外からの来訪者に提供することは、観光需要に対応するだけでなく、区内における経済循環の創出といった効果も期待できる。区内の魅力を紡ぐマインド・ツーリズムを更に開発し、磨き上げ、インバウンド需要に対応していきたいと考えている。

問 羽田イノベーションシティをハブとした産業振興の取り組みについて、区の見解を伺う。

答 まち開き以降、自動運転バスやロボティクスなどの最先端の研究開発が進められてきた。5年11月から、先端医療研究センターなど



機能の段階的に加わり、これまでの取り組みが一層加速・強化される。イノベーションモデル都市の実現に向け、運営事業者と緊密に連携していく。

一 般介 護 予 防 の 取 り 組 み に つ い て

問 次期おおた高齢者施策推進プランにおける、一般介護予防事業の在り方など区の見解を伺う。

答 介護予防の取り組みはフレイルの予防という視点に加え、フレイルに進んだ方へ適切な支援を行い、健康な状態に戻すことが重要である。介護予防の活動や講座を通じて、参加者間の交流を促進するとともに、実態調査の結果やコロナ禍で見えた課題などをもとに次期プランを策定し、安心して暮らし続けられるおおたを実現していく。

防災対策について

問 感震ブレイカー支給事業の今後について区の見解を伺う。

答 都の試算では、感震ブレイカー設置率を50%に高め、区民による初期消火を徹底することで、首都直下地震で起きる火災による消失棟数、死者数をいずれも9割近く減らすことができるとされている。今後はこれまでの実績や5年度の実績を検証し、より効果的な感震ブレイカーの普及事業を検討していく。

問 防災市民組織による自主防災体制の強化について区の見解を伺う。

答 4年に公表された首都直下地震における都の被害想定では、初期消火率の向上が被害の軽減につながることを示されており、地域防災力の一層の強化が必要となる。引き続き、関係部局と連携を密にして、防災市民組織などの更なる体制強化に努めていく。

新空港線整備事業について



日本維新の会大田区議団 三沢清太郎 次世代への徹底投資と活力ある大田区創出を！

教育の無償化について

問 大阪では、0歳から大学院卒業まで、所得制限なき8つの無償化を今後4年間で完成を目指して進めているが、区長はどのように感じているか。「子ども育てるなら大田区No.1」を目指すために、今後どのような取り組みに着手しようと考えているか。

答 大阪の各施策は承知している。区は基礎自治体として、待機児童の解消をはじめ、小・中学校の給食費無償化など、多岐にわたる施策を実施している。時々の行政ニーズを見極め、必要な施策を着実に進めたい。

にぎわい創出について

問 羽田空港とのシャトルバス新設や夜市、連合渡御、花街文化などのコンテンツを増やすことで、大森ににぎわいが戻り、インバウン

ド客も今より多く取り込めるようになるかと考えるが、区長の大森地域におけるポストコロナのインバウンド戦略について伺う。

答 夜市や連合渡御、花街文化などは有力なコンテンツになり得る。大森地域の住民や事業者の取り組みに対して、伴走支援を行うことでインバウンド需要に対応していく。

問 長期的下水道対策について

問 分流通式下水道への抜本的見直しについて、国や都に対して声を上げるべきかと考えるが、見解を伺う。

答 合流式下水道を分流通式下水道に変更するには、幅員が狭く埋設物がふくそうしている道路の地下にもう一本の下水道管を整備する必要があり、更に宅地内の排水設備を分流化する必要があり、物理的、経済的にも極めて困難性が高いと都から聞いている。



新空港線蒲蒲線について

問 事業が成立した際に、都市計画交付金の対象事業となるのか。

答 区が整備主体に支出する補助金について当該交付金の財源措置が確実にされるよう、都区合意に基づき、都と調整をしていく。

大田区の魅力について

問 どのように蒲田らしさを今後のまちづくりにいかしていくのか。

答 蒲田らしさを継承しつつ、まちの機能更新と都市基盤の整備を進め、安心・安全にまちを回遊でき、にぎわいが連続するまちを形成していく。成が極めて重要である。

福祉について

問 今後の社会情勢、区民需要を考えれば、部局をまたいだ支援体制は必要不可欠であり、精神面も含めて常にサポートできるように整備していく必要がある。

答 窓口での個別の相談から見える世帯全体の課題を受け止め、困難を抱えた区民を誰一人取り残さない、大田区版地域共生社会を実現していく。

問 今後の社会情勢、区民需要を考えれば、部局をまたいだ支援体制は必要不可欠であり、精神面も含めて常にサポートできるように整備していく必要がある。

答 窓口での個別の相談から見える世帯全体の課題を受け止め、困難を抱えた区民を誰一人取り残さない、大田区版地域共生社会を実現していく。



東京政策フォーラム(都民ファースト・国民民主・無所属の会) おぎの 未来の大田区をどう考えるか

新空港線蒲蒲線について

問 事業が成立した際に、都市計画交付金の対象事業となるのか。

答 区が整備主体に支出する補助金について当該交付金の財源措置が確実にされるよう、都区合意に基づき、都と調整をしていく。

大田区の魅力について

問 どのように蒲田らしさを今後のまちづくりにいかしていくのか。

答 蒲田らしさを継承しつつ、まちの機能更新と都市基盤の整備を進め、安心・安全にまちを回遊でき、にぎわいが連続するまちを形成していく。成が極めて重要である。

問 福祉について

問 今後の社会情勢、区民需要を考えれば、部局をまたいだ支援体制は必要不可欠であり、精神面も含めて常にサポートできるように整備していく必要がある。

答 窓口での個別の相談から見える世帯全体の課題を受け止め、困難を抱えた区民を誰一人取り残さない、大田区版地域共生社会を実現していく。



立憲民主党大田区議団 松原区政の継承だけではない 鈴木カラーの区政を問う 庄嶋孝広

立憲民主党大田区議団 庄嶋孝広

問 区長が策定を打ち出した新たな基本構想は、区民が共有し、共に実現したくなる将来像にすることが大事であると考えますが、どのような姿勢で策定に臨むのか伺う。

答 区民や関係団体の意見を聴いた上で、様々な区民参画手法を行う。

問 区長選挙などを通じて新空港線(蒲蒲線)に対する区民の民意をどのように捉えているのか伺う。

答 区の負担が巨額になるといった、事実と異なる情報が区民に大きな不安を与えたのではないかと受け止めている。正確で分かりやすい



国際都市おおたについて

問 今後どのような取り組みを行い、外国人の住民などと連携をしていくのか伺う。

答 これまで以上に外国人の観光誘致や産業交流による区内経済の活性化を進め、お互いの違いを認めつつ共生できる社会の実現や、グローバル社会での多くの方の活躍に向けて、様々な施策に取り組みしていく。

福祉について

問 今後の社会情勢、区民需要を考えれば、部局をまたいだ支援体制は必要不可欠であり、精神面も含めて常にサポートできるように整備していく必要がある。

答 窓口での個別の相談から見える世帯全体の課題を受け止め、困難を抱えた区民を誰一人取り残さない、大田区版地域共生社会を実現していく。

問 今後の社会情勢、区民需要を考えれば、部局をまたいだ支援体制は必要不可欠であり、精神面も含めて常にサポートできるように整備していく必要がある。

答 窓口での個別の相談から見える世帯全体の課題を受け止め、困難を抱えた区民を誰一人取り残さない、大田区版地域共生社会を実現していく。

議会ライブ中継のご案内

本会議及び予算・決算特別委員会の様子を、デジタルサイネージ(電子看板)などでライブ中継しています。

中継をご覧になれる施設は、次のとおりです。

- 区役所本庁舎 1階ロビー
- 特別出張所(18か所)
- 大田区総合体育館
- 大田区民ホール・アプリコ
- 大田区産業プラザPiO

録画中継

本会議などの様子を録画したテレビ中継映像をインターネットで配信しています。



一般質問

質問と答弁は、質問者がまとめた要旨を掲載しています。詳しくは、区議会ホームページの会議録をご覧ください。

大田区議会公明党



鈴木 ゆみ



地域通貨について

問 地域経済の活性化とともに、人と人、人とまちがつながるツールとして地域通貨を導入すべきと考えるが、区の見解を伺う。

答 国の政策などを注視しながら、SDGs 未来都市として、地域通貨を含む総合的なプラットフォームを検討していく。

観光施策について

問 コロナ禍と現在における観光の取り組みについて区の見解を伺う。

答 コロナ禍で蓄積したマイクロツーリズムのノウハウをいかし、地域の魅力を結集した観光施策を進めていく。

今後の観光情報発信の取り組みについて、区の見解を伺う。

答 既存媒体の充実とともに、インフルエンサーや観光PR特使の発掘など、積極的な活用を図る。

香川の水質改善について

問 合流式下水道の改善事業が完了するまでの10年間、どのような水質改善対策を講じるのか。

答 都府県や流域自治体との連携を図り、流域全体での総合的な水質浄化対策を積極的に推進していく。

名古屋市の流れる堀川の「覆砂」の取り組みを実験的に行うのはどうか。区の見解を伺う。

答 一定の効果があると思込まれるが、費用対効果などの検討も必要であり、慎重であるべきと考える。

呑川沿いの駐輪場跡地の活用と散策路整備の計画について伺う。

答 駐輪場跡地は、水と緑の魅力あ

大田区議会公明党



あまの 雄太



母子健康手帳について

問 ダウン症児などのための多様な母子手帳ハンドブックについて、今後、区でも配布する考えはあるか、見解を伺う。

答 子育てに配慮が必要な家庭へ、母子健康手帳を補完するハンドブックを交付することは、発育や発達への理解を深め、また、成長の過程を詳しく記録することで、一つずつできることが増える喜びを感じやすく、母子の愛着形成の促進にもつながる。ダウン症のある子どもを育てる家庭を対象としたハンドブックについては、令和5年度から配布する方向で検討し、安心して子育てをしてもらえるよう支援していく。

高齢者の地域参加について

問 男性高齢者の地域参加を促すため、区の今後の取り組みについて見解を伺う。

答 4年度は、男性高齢者の地域参加を促す取り組みとして、老人いこいの家における男性限定企画として、ピアノ演奏を聴きながらのヨガ教室を実施した。シニアステーションでは、「男達の太極拳」や酒のつまみを自分で作る「俺のあて」など、内容・タイトルに工夫を凝らしながら個性豊かなプログラムを実施し、男性高齢者の地域参加の促進に今後も取り組んでいく。

いく。引き続き、性別や年齢に応じた効果的なアプローチを工夫しながら、高齢者一人ひとりが自分に合った活動に出会い、地域社会の一員としていつまでも活躍できるように、積極的に取り組みを進めていく。

つばさ大田区議団



須藤 英児



問 かけ崩れを防ぐ対処方法について複数の事例を示すべきと考えるが、区の見解を伺う。

答 令和4年度から、がけ等アドバイザー派遣事業を設けており、がけの整備・改修について、所有者に寄り添った提案をすることにより改善が進むよう取り組んでいく。

問 合同水防訓練は、誰のための訓練なのか、区の見解を伺う。

答 関係機関の連携による、迅速な水防活動の向上を目的としている。

問 大田区地域防災計画の修正では、マンション居住者が急増していることを前提とした地震や風水害の対策など、区の独自性を強く出すべきと考えるが、区の見解を伺う。

答 大田区地域防災計画の特性は、自助・共助・公助の連携と協働による総合的な防災力強化である。地域力の結集などに独自性を出した計画の修正を考えていく。

問 中央五丁目公園のプレーパークの今後の活動について伺う。

答 地域の資源である公園として、一般の公園利用者と共にしながら有効に活用できる活動を支援していきたいと考える。

問 子育て支援としてプレーパークをどのように考えているのか。

答 子どもたちの自主性や冒険心を



寺下 なおみ



問 子育て支援としてプレーパークをどのように考えているのか。

答 子どもたちの自主性や冒険心を

育み、自然を体感しながら成長できる遊び場であるとともに、子どもたちがのびのびと過ごせる居場所としての意義も認められる。事業化に際しては、持続可能な取り組みにできるかなどの要素を満たす必要があり、引き続き、様々な視点から調査研究していく。

問 蒲田駅前広場について

答 地下自転車駐車場工事の着手までの暫定広場となるが、しゅん工後に進める蒲田駅前広場の整備及び運用に役立てていく。

問 大田区のSTEAM教育について

問 教科「おたの未来づくり」を中心とするSTEAM教育の狙いとその概要を伺う。

答 目的は、幅広い分野で新しい価値を創造し、豊かな未来を創ることができる人材の育成である。児童が自己有用感を高め、働く楽しさや、やりがいを感じることで、できる事例開発に取り組んでいく。

問 JOBOTA、SAPOTA、フラットおおたを今後どのような施設運用していくのか伺う。

答 増加するひきこもりや社会的孤立の相談に柔軟に対応するため、3つの相談支援機能を一体的に運営する窓口を西蒲田に設けることとした。大森地区でも1か所に集約した相談窓口の整備を予定している。予定地はハローワーク大森や子ども家庭支援センターなども隣接しているため、各施設の相互連携を図り、重層的な支援に向けた包括的支援体制を構築できるように運用していく。

問 地域社会での就業やボランティア活動につながる取り組みについて、区の見解を伺う。

答 相談者には、対人関係の構築が

問 避難行動要支援者の支援について

問 災害が発生した際、想定している動きや、潜在的な登録希望者に対する啓発活動について伺う。

答 対象者は、令和5年5月末現在、約1万7千名である。うち、登録申請者が約6千名である。地域では、マップづくりや訪問活動などの取り組みを実施している。関係機関と手引きを作成し、地域へ配布する。8月には、対象者全員へ関係書類を郵送する予定である。

問 各種避難所（一般避難所、妊産婦避難所、福祉避難所）との連携体制について

問 避難所間及び避難所と災害対策本部との連携体制について伺う。

答 自治会・町会、教職員、区職員がマニュアルを共有し、避難所の開設や避難所の誘導などの訓練を実施している。総合防災情報システムにより、避難所など現場の運営状況を災害対策本部と情報共有できる連絡体制を構築する。

問 在宅避難者の支援について

問 現時点の具体策と今後の計画について伺う。

答 感染症対策用などの新たな物品が増加傾向にあり、効率的な収納が求められるため、5年度から専門業者による備蓄倉庫の棚卸を行う。まずは、倉庫の状況を把握し、災害時に国や都からの支援物資などを保管する地区備蓄倉庫と学校防災備蓄倉庫を有機的に結び付け、実効性のある物資保管・輸送の実

現を目指していく。

問 区立小学校の英語教育について

問 区立小学校の英語に親む段階のスピーキング、リスニング能力向上の現状と課題、今後の方針について見解を伺う。

答 現在、小学校1年から外国語教育指導員による学習を実施している。5年度から大森東小学校を国際教育推進校に指定し、英語専科の会計年度任用職員を配置している。成果を検証し、いかしていく。

問 千束特別出張所移転に伴う現庁舎の施設利用について

問 移転後の施設利用計画について、青少年センターやつばさ教室などは暫定設置とのことだが、その後の利用方法の検討について伺う。

答 暫定利用後の活用方法は、8年度を目標に検討を進めていく。



天坂 大介



問 小学校改築などに合わせた学校内児童保育新設や既存施設の諸室活用を進めてきた。定員を拡充し、より多くの受け入れに取り組む。子どもたちの生活の場として、また保護者の負担を減らすための学童保育サービスの向上に資する具体的な取り組みについて伺う。

答 令和4年度に出欠席の連絡などでもできる新システムを一部に導入し、今秋全施設に拡充予定である。WiFiも全施設に整備した。

問 区立小学校の英語教育について

問 区立小学校の英語に親む段階のスピーキング、リスニング能力向上の現状と課題、今後の方針について見解を伺う。

答 現在、小学校1年から外国語教育指導員による学習を実施している。5年度から大森東小学校を国際教育推進校に指定し、英語専科の会計年度任用職員を配置している。成果を検証し、いかしていく。

問 千束特別出張所移転に伴う現庁舎の施設利用について

問 移転後の施設利用計画について、青少年センターやつばさ教室などは暫定設置とのことだが、その後の利用方法の検討について伺う。

答 暫定利用後の活用方法は、8年度を目標に検討を進めていく。

問 千束特別出張所移転に伴う現庁舎の施設利用について

問 移転後の施設利用計画について、青少年センターやつばさ教室などは暫定設置とのことだが、その後の利用方法の検討について伺う。

答 暫定利用後の活用方法は、8年度を目標に検討を進めていく。

質問と答弁は、質問者がまとめた要旨を掲載しています。





会議録検索システム

区議会の会議録を検索・閲覧できるシステムを区議会ホームページに掲載しています。

詳しくは、区議会ホームページの会議録をご覧ください。

自由民主党大田区議団・無所属の会



柿島 耕平

受動喫煙防止対策について

問 分煙環境の整備について伺う。
答 大田区分煙環境整備方針を策定し、公衆喫煙所の設置や維持管理に係る考え方をまとめた。

問 概谷駅前公衆喫煙所設置について伺う。
答 地域への丁寧な説明を通じて早期設置に向け、取り組んでいく。

自治会・町会への組織活動支援について

問 自治会・町会への加入促進支援について伺う。
答 各地域のニーズに合わせた講義やワークショップなどを実施し、多様な人材や団体が有機的に自治会・町会と連携する体制を構築していく。

自治会・町会のホームページ活用について

問 ホームページ作成・更新のための講習会を開催するなどの支援を行っている。今後ホームページの活用を支援し、幅広い世代に活動PRを行うことで、地域コミュニティの活性化を図っていく。
答 デジタル技術を活用した災害時の自治会・町会内の情報発信・連絡網の整備支援について伺う。

問 ICTリテラシーの向上を目的とした講座を各地区で実施した。今後は大田区分災アプリの利用も案内し、災害時の自治会・町会内の情報共有を一層進められるよう支援していく。

日本共産党大田区議団



村石 真依子

給食費補助の事務について

問 給食費の無償化は、教職員の働き方改革の面からも重要であり、継続を求める。アレルギーなどで

給食提供を受けられない児童・生徒の給食費相当の補助の事務を学校現場に押し付けないことを求める。

答 児童・生徒の実情に応じる必要があり、各学校での対応とする。

教員不足への対応について

問 4月から代替教員が足りない事態が顕著になっている。教育委員会として責任をもって対処することを求める。
答 今後とも様々な取り組みを通じて、教員の確保に努めていく。

情緒特別支援学級への教員の加配について

問 2024年度に開設される自閉症・情緒障害特別支援学級に期待が寄せられているが、教員2名の配置では十分な指導ができない。あと一人講師の配置を求める。
答 都の予算により講師を配置する。

日本維新の会大田区議団



鈴木 鈴木

花火の遊び場所の確保について

問 区内の公園で手持ち花火を子どもたちに楽しんでもらうことができないものか、区の考えを伺う。
答 区の公園では、火の不始末による影響を防止するため、花火を禁止している。多摩川河川敷は、国が管理している部分で手持ち花火の使用が可能である。今後も公園の適切な管理運営に努める。

孤独死対策について

問 高齢者が定年後、地域で社会参加することを通じ、孤立を防ぐことができないのではないかと、今後の展開を伺う。
答 高齢者のひとり暮らし、高齢者夫婦のみの世帯割合は、区でも年々増加し、孤立防止対策は重要な課題である。様々な事業や社会福祉協議会との連携を通じ、高齢者の社会参加の推進に取り組む。

立憲民主党大田区議団



津田 智紀

区職員の働きやすい環境の整備について

問 区職員のワーク・ライフ・バランス向上に向けた取り組みを伺う。
答 区は、全国に先駆けてスマートワーク宣言を行うとともに、働きやすい環境整備と更なる区民サービスの向上に取り組んでいる。

高齢者福祉・地域の助け合い活動への参加促進について

問 多様な主体が参画する地域づくりの支援や、高齢者や様々な団体の参画について区の考えを伺う。
答 実態調査の結果や様々な取り組みの実績をもとに、多くの元気な高齢者がそれぞれの役割を担いつつ、社会参加できるように、次期高齢者施策推進プランの策定に向けて取り組みを進めていく。

立憲民主党大田区議団



小川 あずさ

問 路上生活者の無料低額宿泊所の改善策について伺う。

答 居室は全室個室化していく。

問 生活の立て直しに際し、具体的なプログラムはあるのか。

答 課題を整理し、生活リズムを整える支援をJOBOTAを中心に丁寧に行っていく。

問 区の中学生の英語教育の現状を伺う。

答 コミュニケーションを意識した授業を行い、英検3級以上を取得した中学校3年生の割合が令和4年度には53.8%と向上した。

問 英語が分からなくなっている中学生への対策を伺う。

答 英語の楽しさを実感でき、主体的・対話的で深い学びが実現できるように授業改善に努めている。

フェアな民主主義



奈須 利江

人口減、少子高齢化、税収減でも増える公共施設計画について

問 公共施設の老朽化の時期が集中している。2008年時点での542施設延床面積120万㎡が2021年には646施設127万㎡と13年で104施設7万㎡増加し、経費は2013年までの5年平均年61億円が2021年には年120億円となり、経費削減のため複合化したものの経費は更に増加した。区は人口2%減、生産年齢人口8%減、企業利益4%減の税収減を予測しているが、公共施設改築費を年135億円と13%増で計算している。区民サービスは大丈夫か。財源はどうするか。
答 施設配置の適正化に努めていく。

長期休暇支援プロジェクトについて

問 長期休暇中の子ども居場所づくり補助事業について、団体の応募条件は、実施期間が4日以上とされている。4日間のみの実施で子どもの居場所となりうるのか、もっと長い方がよいと考える。本事業を計画する上で、どのような考えのもと実施期間の要件を設定したのか、区の見解を伺う。
答 幅広い分野の団体に取り組んでもらえるよう、1か月で週1日以上の実施を想定し、補助条件を4日以上とした。本事業をきっかけとして、支援を必要とする子どもと子育て世帯が地域の支援者と日常的につながり合う地域づくりを進め、支援の輪を広げていく。

日本維新の会大田区議団



杉山 かずのり

長期休暇支援プロジェクトについて

問 長期休暇中の子ども居場所づくり補助事業について、団体の応募条件は、実施期間が4日以上とされている。4日間のみの実施で子どもの居場所となりうるのか、もっと長い方がよいと考える。本事業を計画する上で、どのような考えのもと実施期間の要件を設定したのか、区の見解を伺う。
答 幅広い分野の団体に取り組んでもらえるよう、1か月で週1日以上の実施を想定し、補助条件を4日以上とした。本事業をきっかけとして、支援を必要とする子どもと子育て世帯が地域の支援者と日常的につながり合う地域づくりを進め、支援の輪を広げていく。

区長挨拶 (抜粋)



鈴木 晶雅 区長

● 新型コロナウイルス感染症

5類に移行して以来、感染者数の報告は全数把握から定点把握になりましたが、直近の報告数は緩やかな増加傾向となっております。区では、入院患者や重症患者の数など、医療現場の逼迫の度合いも把握しながら、引き続き感染状況を注視してまいります。

● 水素協定

令和5年6月1日、水素エネルギーの利活用拡大に向け、大田区・川崎市・東京都による連携協定を締結いたしました。カーボンニュートラルの実現に向け、この3者の取り組みを、空港臨海エリアから広く全国へ発信できるように、力強く進めてまいります。

● 羽田イノベーションシティ

羽田イノベーションシティが、5年11月16日にグランドオープンいたします。今後、グランドオープンを契機に先端医療研究センターや新たな研究開発拠点、文化発信機能などが段階的に加わり、いよいよ「新産業創造・発信拠点」としての機能を発揮する基盤が完成いたします。より一層、卓越した技術を持つ多様な企業が参画することによって、これまで以上に交流の機会が生まれ、新たなビジネスやイノベーションが創造されることで、区内産業はもとより、

● 水防体制の強化

大田区田園調布水防センターが5年2月に完成し、運用を開始いたしました。5月14日には、台風や集中豪雨が多発する時季を前に水防活動能力の向上を目的として「大田区・第二消防方面合同水防訓練」を実施いたしました。引き続き、激甚化する自然災害に対する区民の安全・安心を確保するための取り組みを進めてまいります。

● 新空港線の整備

新空港線は国の答申、都区合意、整備主体である羽田エアポートライン株式会社設立と大きく前進してまいりました。少しでも早く整備し、沿線のまちづくりもあわせて進めていくことで、これまで以上に魅力あふれる大田のまちを創ってまいります。

● 大田区版地域共生社会の実現

子どもから高齢者まで全ての区民に寄り添い、誰もが安心して地域で暮らすことのできる大田区版「地域共生社会の実現」に向けて、5年度に策定する福祉分野の主要3計画、大田区地域福祉計画、おおた高齢者施策推進プラン、おおた障がい施策推進プランでしっかりと将来ビジョンを描き、区内福祉事業者や地域活動団体、区民の皆様方と手を携え、住民福祉の増進に全力で取り組んでまいります。

用語解説

* STEAM教育 (4面4段・14行目)

STEM (Science (科学)、Technology (技術)、Engineering (工学)、Mathematics (数学)) に加え、広い範囲でArts (芸術、文化、経済、政治など) を定義し、各教科などでの学習を実社会の問題解決にいかすための横断的な教育を指す。

* つばさ教室 (4面6段・32行目)

心因的理由などで登校できなくなった小学校の児童、中学校の生徒が通う「教室」のこと。

録画中継

本会議などの様子を録画したテレビ中継映像をインターネットで配信しています。



第2回

定例会で決まった議案など

○は全会一致（12件）は賛成者多数（7件）

一 区長提出議案

令和5年度補正予算

一般会計（第2次）

1億2,544万5千円増額する（詳細は、1面に記載）。

条例の一部改正

大田区立男女平等推進センター条例

大田区立男女平等推進センターの移転に伴い、位置、施設及び使用料を改めるほか、規定を整備する。

大田区特別区税条例

地方税法等の改正に伴い、森林環境税を創設するとともに、軽自動車税に関して、特定小型原動機付自転車に係る税率を定めるほか、規定を整備する。

大田区手数料条例

建築基準法の改正に伴い、必要な手数料を定めるほか、規定を整備する。

大田区コミュニティセンター羽田旭条例

旧羽田旭小学校敷地活用事業に基づき大田区コミュニティセンター羽田旭の整備に当たり、運動場の利用を停止する。

大田区民住宅条例

借上型区民住宅のプラムハイツ・コパンを廃止するほか、規定を整備する。

大田区立児童館条例

蓮沼児童館御園分室を廃止する。

大田区保育の必要性の認定等に関する条例

特定被監護者等が同一世帯に2人以上いる場合において、最年長者である当該特定被監護者等を除き、保育の実施等に係る費用を零とするほか、規定を整備する。

土地の取得

大森ふるさとの浜辺公園整備用地

所在地：大田区大森東一丁目64番93番1
地積：10,382.61平方メートル
取得金額：20億3,152万3,166円

契約の締結

仮称大田区大森西二丁目複合施設新築その他工事（1期）請負契約

契約金額：45億9,360万円
契約の相手方：鴻池・湯建・蔵王建設共同企業体

大田区立安方中学校校舎改築その他工事（1期）請負契約

契約金額：40億1,500万円
契約の相手方：北信・河津建設共同企業体

大田区総合体育館特定天井改修その他工事請負契約

契約金額：4億9,500万円
契約の相手方：幸建設株式会社

大田区立京浜島三丁目資材倉庫増築その他工事請負契約

契約金額：2億4,750万円
契約の相手方：サンユー建設株式会社

大田区糞谷・羽田地域庁舎外壁改修その他工事請負契約

契約金額：1億9,800万円
契約の相手方：リノ・ハピア株式会社

大田区立安方中学校校舎改築その他電気設備工事（1期）請負契約

契約金額：5億2,779万円
契約の相手方：永岡・城南・アール建設共同企業体

大田区総合体育館特定天井改修その他電気設備工事請負契約

契約金額：2億20万円
契約の相手方：新星電工株式会社

大田区立安方中学校校舎改築その他機械設備工事（1期）請負契約

契約金額：7億400万円
契約の相手方：マサル・城南建設共同企業体

大田区立大森スポーツセンター冷水発生機改修工事請負契約

契約金額：1億9,800万円
契約の相手方：日産温調株式会社

緊急医療救護所等備蓄品の購入

契約金額：4,254万8,000円
契約の相手方：株式会社加美屋

一 報告

令和4年度大田区繰越明許費繰越計算書

区が出資する法人の経営状況に関する書類の提出
大田区土地開発公社
公益財団法人大田区スポーツ協会
公益財団法人大田区文化振興協会
一般財団法人国際都市おおた協会
公益財団法人大田区産業振興協会
株式会社大田まちづくり公社
羽田エアポートライン株式会社

一般財団法人大田区環境公社
区の義務に属する損害賠償額決定に係る専決処分
ごみ収集作業における物損事故
処分日：令和5年5月31日
賠償金額：4万9,500円

○：賛成 ×：反対

Table with columns for agenda items and voting results across various council groups. Includes a legend for party affiliations at the bottom.



第3回定例会の予定. Includes dates from 9/6 to 9/14 and details about the agenda and committee meetings.



第2回 定例会 委員会付託された請願・陳情の結果		今定例会で委員会付託された請願・陳情の結果は以下のとおりです。	審査結果
総務財政委員会	物価高騰に伴う緊急給付金制度に関する陳情		不採択
	協議会等実施取組の実態に合った協議及び統計処理の改善に関する陳情		不採択
	ふるさと納税による減収対策の実施に関する陳情		継続
	「住民票の閲覧制限」制度の改善に関する陳情		不採択
健康福祉委員会	70歳以上のフレイル予防のために外出して100円給食の助成金制度実施に関する陳情		不採択
	生活保護基準引き上げの意見書を国に求める陳情		不採択
まちづくり環境委員会	駅前広場の歩行者・自転車の通行区分に関する陳情		不採択
	駅前のバス・タクシー乗り場及び駅前広場に風雨避け及びベンチの設置に関する陳情		不採択
	ごみ集積所設置に関する陳情		継続
子ども文教委員会	「別居・離婚後における良好な親子関係を維持する制度」を求める陳情		不採択
	保育士応援手当に関する陳情		不採択
	『保育士応援手当の継続』に関する陳情		不採択
	保育士応援手当の継続に関する陳情		不採択
	区立小中学校の給食について無償化の継続と質の確保を求める陳情		不採択
議会運営委員会	区議会議員定数削減に関する陳情		不採択
	区議会議員の歳費固定化に関する陳情		不採択
交通政策調査特別委員会	蒲蒲線（新空港線）建設代替案の検討及び実施に関する陳情		不採択
	各駅（JR・東急・京急・都営地下鉄）における駐輪機設置又は増設に関する陳情		不採択
	京急雑色駅に特急電車が停車していただけるようにすることに関する陳情		不採択
	道交法63条の十一にヘルメット条例案に関する陳情		不採択
	第二段階を含む新空港線（蒲蒲線）整備計画を区民に分りやすく説明する事を求める陳情		継続
	新空港線三セク会社の財政的リスクへの区民の懸念にたいし丁寧な説明を求める陳情		継続
	自転車用ヘルメット購入助成を求める陳情		不採択
羽田空港対策特別委員会	B滑走路西向き離陸の室内騒音の再測定を、できれば継続的な測定をと願う陳情		不採択
	区民の長年の悲願「安心で安全な空」を叶えてくださるよう要望する陳情		不採択
	三年間の実績で明らか「有害・不要」の羽田新ルート廃止を国に求める陳情		不採択

※太字が変更のあった委員です。

◎高岡山 美一
○岡元 由美
◎湯本 良太郎
◎えびさわ 圭介
◎天坂 大介
◎小峰 よしえ
◎佐藤 和雄
◎三島 伸
◎犬伏 清一郎
◎おぎの 秀太
◎庄嶋 孝広

◎委員長 ○副委員長
(令和5年6月26日付)

委員会の委員に変更がありました

聴覚などに障がいのある方へ

本会議及び委員会では、手話通訳者の派遣とFM受信機の貸し出しを行っています。

- 手話通訳者を希望される方
傍聴希望日の7日前までに問い合わせ先へお申し出ください。
- FM受信機の貸し出しを希望される方
傍聴の際にお申し出ください。

簡単アクセス!

問い合わせ先 議会事務局 FAX5744-1541 電話5744-1474

議会防災訓練を実施しました

令和5年第2回定例会第1日の6月15日、本会議終了後に議会防災訓練を行いました。

訓練の目的は、①身の安全を守ること、②非常時の議事の進行確認、③議会災害対策本部の設置運営訓練の3点とし、本会議で議員が登壇中に、東京湾北部を震源とする震度6強の地震が発生した想定で行いました。

議会災害対策本部の設置運営訓練では、議員が登壇できない状況を想定してWEB会議ツールを活用し、各会派内の安否確認や被害状況の報告訓練の後、議会災害対策本部として対応すべき事項の確認を行いました。

議場での訓練の様子

議会災害対策本部の設置運営訓練の様子



委員会の構成

令和5年7月1日現在

常任委員会

◎：委員長 ○：副委員長

総務財政委員会



◎えびさわ 圭介 自民・無所属 ○榎 しんいち 公明 湯本 良太郎 自民・無所属 中坪 悦子 自民・無所属 岡元 由美 公明

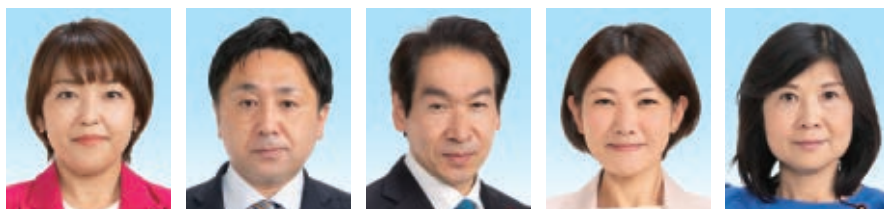


清水 菊美 共産 三沢 清太郎 維新 犬伏 秀一 つばさ おぎの 稔 フォーラム 庄嶋 孝広 立憲

地域産業委員会



◎田島 和雄 公明 ○しおの目まさき 自民・無所属 高山 雄一 自民・無所属 北村 やよい 自民・無所属 秋成 おさむ 公明



鈴木 ゆみ 公明 佐藤 伸 共産 本多 たかまさ 維新 清水 ちこ フォーラム 奈須 利江 フェア民

健康福祉委員会



◎松原 秀典 自民・無所属 ○松原 元 つばさ 大森 昭彦 自民・無所属 伊佐治 剛 自民・無所属 末安 広明 公明



あまの 雄太 公明 すがや 郁恵 共産 鈴木 ひろこ 維新 津田 智紀 立憲 寺田 かずとも 新

まちづくり環境委員会

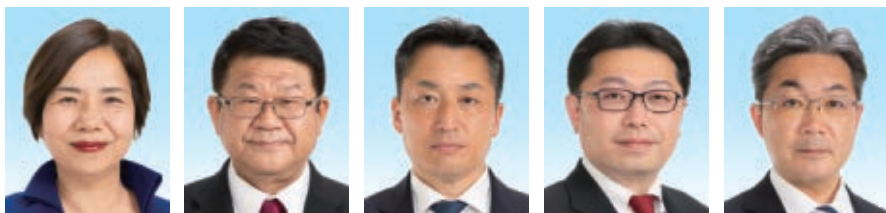


◎馬橋 やすとき 自民・無所属 ○松本 洋之 公明 押見 隆太 自民・無所属 柿島 耕平 自民・無所属 大橋 たけし 公明

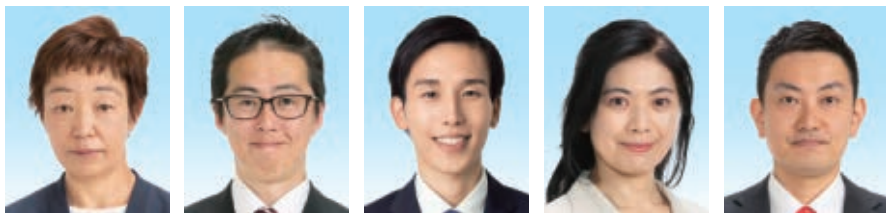


杉山 こういち 共産 宮崎 かずま 維新 須藤 英児 つばさ とく山 れいこ フォーラム 小川 あずさ 立憲

こども文教委員会



◎小峰 よしえ 公明 ○高瀬 三徳 自民・無所属 鈴木 隆之 自民・無所属 天坂 大介 自民・無所属 田村 英樹 公明



村石 真依子 共産 杉山 かずのり 維新 伊藤 つばさ つばさ 寺下 なおみ フォーラム 平野 春望 立憲

議会運営委員会

◎：委員長 ○：副委員長

委員氏名

◎高山 雄一 ○岡元 由美 しおの目まさき 湯本 良太郎
えびさわ 圭介 天坂 大介 小峰 よしえ 田島 和雄
佐藤 伸 三沢 清太郎 犬伏 秀一 おぎの 稔
庄嶋 孝広

特別委員会

◎：委員長 ○：副委員長

委員会名	委員氏名
シティプロモーション・スポーツ調査特別委員会	◎大橋 たけし ○湯本 良太郎 えびさわ 圭介 松本 洋之 鈴木 ゆみ 清水 菊美 鈴木 ひろこ 宮崎 かずま 須藤 英児 とく山 れいこ 庄嶋 孝広
交通政策調査特別委員会	◎犬伏 秀一 ○田村 英樹 松原 秀典 高瀬 三徳 高山 雄一 中坪 悦子 小峰 よしえ 佐藤 伸 村石 真依子 杉山 かずのり 寺下 なおみ 津田 智紀
羽田空港対策特別委員会	◎鈴木 隆之 ○おぎの 稔 しおの目まさき 馬橋 やすとき 柿島 耕平 榎 しんいち 田島 和雄 杉山 こういち 本多 たかまさ 松原 元 小川 あずさ 奈須 利江
防災安全対策特別委員会	◎三沢 清太郎 ○伊佐治 剛 北村 やよい 天坂 大介 岡元 由美 あまの 雄太 すがや 郁恵 伊藤 つばさ 清水 ちこ 平野 春望 寺田 かずとも

会派名称・電話番号

自民・無所属	自由民主党大田区議団・無所属の会	☎5744-1480
公明	大田区議会公明党	☎5744-1488
共産	日本共産党大田区議団	☎5744-1477
維新	日本維新の会大田区議団	☎5744-1155
つばさ	つばさ大田区議団	☎5744-1718
フォーラム	東京政策フォーラム (都民ファースト・国民民主・無所属の会)	☎5744-1285
立憲	立憲民主党大田区議団	☎5744-1475
フェア民	フェアな民主主義	☎5744-1469
れ新	OTAれいわ新選組	☎5744-1675